

花ごよみ 2月

2026年
1月25日
276号

発行：(公財) 東京動物園協会 井の頭自然文化園

この時期にはツバキの固かった蕾もひとまわり大きくなり、色づき始めます。次第に花の数も増えていきます。

咲き方もいろいろ



春曙紅 (シュンショウコウ)

八重咲きの単色ですが、花の中心の色が薄い「底白」という模様です。



狩衣 (カリギヌ)



京唐子 (キョウカラコ)



光源氏 (ヒカルゲンジ)

「宝珠咲き」から「千重咲き」へ



白菊 (シラギク)



紅乙女 (コウオトメ)



真ん中に蕾がのこる「宝珠咲き」で咲き始め、次第に「千重咲き」という咲き方に変わります。

めずらしい葉のツバキ

葉の先端が金魚の尾びれのように3つに分かれています。



錦魚葉椿 (キンギョバツバキ)

早春の花

冷たい外気にも負けず春を感じ、土や枯れ葉の下から姿を現します。



フキノトウ



セツブンソウ

